

JCI TOYP JAPAN エントリーシート



→ 空欄に入力ください。

性別	女	入力日	2021 年 3 月 31 日			
ふりがな 氏名	たなか まりえ		推薦者	地域	名古屋市	
	田中 麻莉絵			団体名	JCI名古屋	
紹介者（無記入・可）	①			②		
推薦理由 ※ありの場合	田中麻莉絵さんは、2021年度（第71年度）名古屋人間力大賞事業において、名古屋市長賞を獲得されましたので、TOYP事業に推薦いたします。					
活動カテゴリー	<input type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input checked="" type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
業務内容	ヘルプマークの導入啓発活動		具体的な商材		ヘルプマーク	
<p>2014年に骨髄異形成症候群という血液の病気を患い、余命5年の宣告を受けました。血液の病気は外見は健康な人と変わらないため、内部疾患や内部障がいを持つ人々は助けを求めることが難しいという現状に気づき、他者に助けを求めることを提示するヘルプマーク導入の啓発活動を始め、名古屋市長に1万人以上の署名を提出するなどして愛知県のヘルプマーク導入のきっかけを作りました。</p>						

活動内容
(200文字以内)



プレゼンテーション動画

質問①
(200文字以内)

Q1. この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか (ビジョン)

外見からは内部疾患や内部障害がわからない人でも、ヘルプマークを持っていれば、自分が障害を持っていることを外部に明らかにして、助けを求めることができます。健康な人にもヘルプマークの意味を理解してもらい、その認知度を高めることによって、障害があってもなくても、他者に優しくできる未来を実現したいと思っています。

質問②
(200文字以内)

Q2. 未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください (アクション)

2016年、2017年ころは、公共交通機関にヘルプマークや優先ステッカーなどの表示がなかったため、導入に向けた活動を行ってきました。現在は、愛知県や公共交通機関でのヘルプマークの導入がされたことから、ヘルプマークのさらなる認知度向上のため、講演活動などを続けています。

質問③
(200文字以内)

Q3. あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか (インパクト)

内部疾患や内部障害を持つ人にとって、助けを求めるのはとても勇気がいりますが、ヘルプマークが導入されたことで、自分に内部疾患などがあることを外部に表示しやすくなり、助けを求めやすくなりました。また、ヘルプマークをつけていると、子供たちから、「何かお手伝いしましょうか。」と声をかけられることも増えてきました。大人だけでなく、子供も内部疾患などへの理解が増えてきています。

TOYPをどこで知りました？

・青年会議所会員からの紹介 推薦 (名古屋青年会議所)

・HP・Facebook・チラシ・メディア () ・ その他 ()

年度	経歴		アピール事項(4項目以内)
	企業/団体	役職名	活動内容/一言PR
2012 年	株式会社オアシス設立	代表取締役	① ホームページ制作等を行う会社です
2014 年	骨髄異形成症候群と診断され余命5年の宣告		② 2015年から、ヘルプマークの啓発を始めました。
2018 年	三重県ヘルプマークアンバサダー就任		③ ほかに、特定非営利活動法人いのち繋ぐプロジェクトを立ち上げました。
2019 年	会社などの全役職を退任		④ 療養生活を続けながら、講演活動などをしています。